

会議録

会議の名称	令和4年度第11回新城市若者議会
開催日時	令和4年12月16日（金）午後7時から午後9時まで
開催場所	市役所4階会議室
会議の内容	令和4年度第11回新城市若者議会 ・わかもの企画会議

1 わかもの企画会議

「このまちのために自分たちには何ができるか」という視点で、グループごとに自由なテーマで話し合いを行った。以下は話し合いのあとに各グループから共有された内容である。

Aグループ	<p>1泊2日の体験キャンプ開催について話し合った。1日目の午前には体育館でスポーツ大会を行い、勝敗によって昼食の内容が決まる。午後は鳳来で体験講座を開催する。火おこしチャレンジ、長縄対決、フォトコンテストなどを行い、勝敗によって夕食の内容や宿泊場所が決まる。夜はカレーづくり、テント張り、キャンプファイヤー、天体観測などを行う。2日目は食堂で朝食をとった後、川で流しそうめんやスイカ割りを行う。午後は魚集めやカラオケで点数を競い、勝敗によってBBQの牛肉が鳳来牛か安いお肉かが決まる。夜は野外シネマを開催する。</p>
Bグループ	<p>清掃活動と商店街の活性化について話し合った。</p> <p>清掃活動は対決方式で行い、拾った量や種類などで競い合う。春と秋冬に年2回開催し、参加人数は20～30人を目標にする。場所は季節によって変え、春は桜淵公園、秋は紅葉がきれいな場所で開催する。新城市がきれいになる、ランダムでチームを組むことで交流が生まれる、ポイ捨てしづらくなる、ゴミの分別について学べるといったメリットがある。</p> <p>商店街の活性化については、豊橋市のまちなか図書館のように話すことができ、気軽に訪れやすい場所をつくる。まちなみ情報センターを核として若者が人を呼び込み、商店街をにぎやかにしたい。</p>
Cグループ	<p>たくさんのアイデアが出たが、新城ならではのものに着目し、いくつかの共通点を探した。1つめは夜店を復活させ、</p>

	<p>新城の特産品なども販売する。2つめは巨大五平餅をつくり、ギネス記録に挑戦する。3つめは城をつくる。新城には城跡はあるが、城がない。市民で協力し合って城を建設し、新城のシンボルとする。</p>
Dグループ	<p>始めにどんな新城にしたいかを話し合ったところ、世代間の交流が生まれてほしい、いろいろな市民の方の声をききたいなど様々な意見がでた。その中でも、交流できる場がほしいという意見が共通していた。実際にどんなことができるか考え、新城大運動会・文化祭を開催するというアイデアにまとまった。1からつくるのは難しいため、すでに開催されている新城市民文化祭に便乗する形で、より規模の大きい、幅広い内容で行う。小中学生から高齢者まで多くの世代が楽しめるイベントにしたい。文化祭では、中学や高校の吹奏楽部に演奏をしてもらう。大運動会では、玉入れや綱引き、3世代リレーなどで競い合う。イベントの最後には、キャンプファイヤーを行う。日程は、新城市民文化祭が開催されている11月の土日2日間とする。市民団体にも参加してほしいため早めに声をかける。広報チラシやサイトもつくる。運営委員会と当日のボランティアで運営を行う。初回の目標来場者数は3000人ほどとし、次年度以降さらに来場者を増やしていく。</p>
Eグループ	<p>市民で盛り上がる日帰りキャンプについて考えた。10月に新城総合公園の芝生広場で開催する。新城の廃材を活用して箸やフォーク、お皿などをつくる木工体験、火おこし体験などを行う。火おこし体験でおこした火を使い、カレーライスやバームクーヘン、焼きマシュマロなどをつくる。夜はみんなで星を観察する。スケジュールとしては、6月に場所を借り、7月に体験に必要な道具や材料等を集め、8月から9月の間に打合せや木工体験のリハーサルを行う。メインのターゲットは子連れとするが、星が好きな人、食べるのが好きな人、盛り上がるのが好きな人、木が好きな人などどんな人にも刺さる内容となっている。様々な体験を通して、新城を好きになってもらうことがこのイベントの目的である。</p>
Fグループ	<p>3つの案を考えた。1つめは桜淵公園のリニューアルであり、BBQの機材レンタルや動かすことのできる机・椅子・ハンモックなどのアイデアが出た。くつろげる場所が増えた桜淵公園で軽トラ市を開催するのも良いのではないか。これにより、桜淵公園を利用する人の増加が期待できる。</p> <p>2つめは鬼ごっこイベントを総合公園で開催するというものである。秋頃に開催する計画で夏頃に周知を行う。年齢制</p>

限は設けない。某番組のようなミッションをつける。高校生などにも鬼役等で参加してもらうことで、地域の人々との交流の機会となる。

3つめは、地域の学校というアイデアであり、ここでは大人の仕事や大学生が学んでいることなどについて教えることができる。小学校やまちなみ情報センターなどを会場とし、長期休みに1回ずつぐらいの頻度で行い、次の講師は参加者の中から指名する。幅広い年齢の方が交流する機会となる。

終了時間：午後9時